
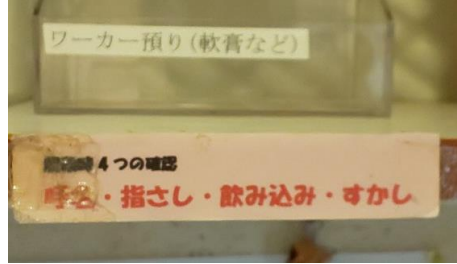



2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告

報告事項		内 容	
被監査事業所名		生活クラブ風の村特養ホーム八街	
監査実施日		実施日時: 2019年 11月 19日(火) 12:30~14:30	
監査結果		<p><監査人の総評> すべてのユニット*1を回れたわけではないが、新町も本町も「特養ホーム八街建物内のエリアの区分表示」現在の人員配置だと介護三大ケア(入浴、排せつ、食事)を行うだけで精一杯」という声が聞かれた。そんな忙しい中、質問を受けた職員は全員快く対応した。また、「KAZEGRAM」や「10の基本ケア」というワードには同じような答えが返ってくるなど、基本的で大切な部分は周知徹底されている印象を受けた。 しつらえはユニットごとに工夫されているが、いずれも入居者を第一に考えられているように感じた。</p> <p><被監査事業所のコメント> 現状では人員の不足により、補填もできない中でのサービス提供となっている。コンプライアンスの部分を維持することに追われてしまっている。</p>	
監査項目		監査人	被監査事業所 特養ホーム八街
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
(風の村AZEMAニユアル)	①早番、訪室、環境整備について	早く起きた方にはリビングで時間を過ごしていただいたり、起きられない方は少しゆっくり寝ていただいてから起床を呼び掛けるなど、本人の生活リズムやその日の気分・体調に合わせて起床介助やリビングへの誘導を行なっている。また、朝食の配膳も、起きてきてから配膳することが徹底されている。	
	②早番/リビングへの誘導について	経管栄養の方の注入物が他者から見えないようにカバーをかける配慮がされていた。	
	③配膳について		
	④レクリエーション、クラブ活動について	ボランティアの方が実施して下さるレクリエーションやクラブ活動に対し、特養・ショート全体で、そのレクリエーションが好きな方等にお声掛けして、参加いただいている。本当は遊びリレーションや外出企画も行ないたいが、人員配置が厳しいため、現状では実施が困難と話をされる職員が大多数だった。ただ、ユニットによっては、季節に応じた外出ができているところもあるとのこと。	
	⑤下膳・食器洗いについて	終わった方にはしっかり声掛けをしてから下膳をされていた。	

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告

監査項目		監査人	被監査事業所 特養ホーム八街
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
K A Z E G R A M マ ニ ユ ア ル 務	⑥早番/服薬介助・服薬後について	<p>服薬事故をなくすため、薬がしまわれている棚に「呼名・指さし・飲み込み・すかし」という4つの確認事項が見やすく貼られており、話を伺った職員は全員がこの4つをしっかりと実施することを把握されていた。</p> 	
	ご利用者アンケート	<p>非常時や災害時の対応を知っている、または説明を受けた</p> <p>職員によってサービスの質が変わることがある</p> <p>自由記述</p>	<p>半数以上の方が「知らない」に近い選択をされている。</p> <p>2割の方が「ある」に近い選択をされている。</p> <p>「部屋にオムツが放置され、悪臭を放っていることがたびたびある」との記述あり。</p> <p>「忙しそうで声を掛けづらい」という意見が複数出していた。</p> <p>「来客者にご苦労様ですと挨拶する職員がいて返事に困る」という意見があった。</p> <p>「私服なので職員の名前がわからない、挨拶できない職員は職員であることを判別できない」という意見があった。</p> <p>「前任者からの引継ぎが正確になされているか疑問」という意見が複数出していた。</p>
10の基本ケア	1. 換気を行う	朝と夕の1日2回、必ず換気を行うということがルーチンワークとして現場に落とし込まれていた。	
	2. 床に足をつけて正しい座位をとる	車椅子に乗ったまま食事をしている入居者が大勢いたが、自分で移動したが、椅子ごと動いてしまうので、危険性を考慮して車椅子で食事をしていただき、いつでも自分で移動できるように車椅子のまま食事いただくようにしたとのこと(実際にご自分で移動しておられた)。	
	3. できるだけトイレで用を足す	現場に根付いている。	

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告

監査項目		監査人	被監査事業所 特養ホーム八街
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
10の基本ケア	4. あたたかい食事をする	遅れて着席された方にも、レンジを使って温めて配膳していた。 当日の食事が楽しみになるようなメニューボードが設置されていた。 	
	5. できるだけ普通のお風呂に入る	チェアインバス(座ったまま入浴できる介護用のイス)も設置したが、あまり稼働しておらず、普通浴で入浴される方が大半とのこと。	
	6. 質の高い認知症ケアを行う	どの職員に尋ねても、「ユマニチュード*2」の言葉が出てきて、「よく反応を示してくれる」という意見も多く聞かれた。	
	7. お出かけを楽しむ	配置人数が厳しく、日々の外出はできないが、桜の季節には敷地内の桜を見に外に出るなど、できる限り外出しようという意欲は見られた。	
	8. やりたいことを見つけ、実現できる手助けをする	家族や本人の要望を、できる可能性があることに関しては、どうしたら実現できるかを相談しながら、可能性を追求しているとのこと。	
	9. 本人・家族が参加してケアプラン作りをする		
	10. ターミナルケアをする	実施している。	
接遇	身だしなみ	出合った職員は、不快感を与えない服装で働いていた。	
	言葉遣い	丁寧な言葉遣いだった。	

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告

監査項目		監査人	被監査事業所 特養ホーム八街
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
接 遇	環境	<p>入居者の目線に合わせた低い位置に時計を置くなど、入居者優先の環境整備がなされていた。また、装飾も心地よいものだった。</p>    <p>段ボールがベランダに置かれていた。</p>  <p>トイレ内のオムツも整然とされており、交換が持てた。</p>  	<p>段ボールは一階にかたづける場所があるので、一時保管でもベランダにはおかないように周知します。1月のミーティングにて。</p>
	情報共有(職員間)	<p>月1回のユニット会議、主任会議、運営会議等、必要な会議を持つことで情報共有している。入居者ごとに異なる飲料等を提供したり、食形態や薬の飲み方に間違いが起こらないように誰でもわかりやすいよう工夫されていた。</p>  	

*1 ユニット型特養は要介護3以上(特例の要介護1・2)の高齢者が入居でき、原則として終身に渡って介護が受けられる施設。すべて個室で10人程度を1つのユニット(少人数グループ)として介護を行う。

*2 ユマニチュード その人の「人間らしさ」を尊重し続けること。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱でご利用者とのよい関係性を築きあげていくこと。